

令和 6 年 9 月号

都立第三商業高等学校

図 書 館 (全日制)

図 書 館 だ よ い



さあ!2 学期が始まります。

まだ少し暑いし、台風も来るかもしれないけれど、今月は三商祭の月です。
3 年生は進路の季節でもあり、次の自分を実現する機会ですね。
秋の実りを楽しみましょう。

さて、「夏休みの読書月間」はいかがでしたか?感動の読書か、熟睡の枕か、忘却の
積読か?もし読書から何か見つけたものがあったら…、ビブリオバトルに挑戦!! 友達と
感動交換…そっと仕舞い込もうかな…。

ともあれ、夏の貸出延長期間は「9 月 5 日」で終了します。

「返却は 9 月 5 日まで」をお忘れなく。再貸し出しも出来ますのでご希望があれば、手元の本を持参して司書までお申し出ください。

[特集1]蔵書点検ってなに?

三商図書館では、毎年夏休み中に 3 日の閉館日をいただいて「蔵書点検」を実施します。今月はこの「蔵書点検」を特集してみました。

司書にとっては、「蔵書点検」というのはかなり地味な単純作業でありながら奥の深い仕事(注1)の一つです。この仕事は一般的には「商品の棚卸」に例えられます。図書館が所蔵する資料(注2)について、蔵書目録と現物をすべて照合します。三商図書館では今回 29,765冊を照合しました。

司書は、この照合によって、三商図書館が所蔵する情報財産を適切に管理しなければなりません。本棚に埋もれたり紛失したかもしれない資料を確認します。配架(注3)位置が適切か、資料の痛みや破損はないかも点検します。仕上げは、本棚を美しく資料が生き生きと輝けるように書架整理(注4)して、破損した資料を修理して、清掃(注5)します。新学期、三商図書館ですてきな資料たちが皆さんを待っています。



蔵書点検全景 「曝書」始まり(上)



ハンディー機器でひたすら資料のバーコードを読み取って、PC に入力します。(上・右上)



最後の仕上げ清掃(右)

注1:どんな仕事でも極めていくと奥は深い。

2:「資料」とは図書館用語で、本、雑誌、CD、DVD 等の所蔵するすべての情報の総称として使われます。

3:「配架(ハイカ)」は図書館用語で、資料を日本十進分類法の通り棚に並べることです。

4:図書館の本棚は生き物のようにどんどん成長、変化します。情報の洪水に溺れないようにそれぞれの資料と仲良くお付き合いします。請求記号の順番にきちんと並んでいるか、背表紙はきれいにそろって並んでいるかなどを整理するのは「整架」とも言ってこれは、日常作業で常に行います。

5:チリ払いや、ホコリ取りです。資料はいつも利用されていると汚れますけどホコリはたまりません。

蔵書点検は「曝書(バクショ)」(昔の言葉で、虫干しのこと)ともいわれます。

今月のおすすめ

Book

『REKIHAKU 特集「蔵書」をヒラク・知のかたちをひもとくとわかることがたくさんある!』 編集:国立民俗博物館

研究者でなくても誰でも「博物館と図書館」を一緒に使いこなせれば「鬼に金棒」といえます。ここは、「学芸員と司書」が黙々と作り上げた「知の天国」に違いありません。「蔵書」は互いの接点で、好奇心と探求の世界が秘められています。裏を返せばひょっとして地獄の苦しみ…ということもあるかもですが、光と闇は世の常。古文書と蔵書の世界をどうぞ。

Noimage

「特集2」夏休みの「小さな旅・悠久の時・・・」
REKI HAKU 訪問記 千葉県佐倉市 (8月12日)

歴博に行ってきました！入り口を入るとさっそく巨大な象がお出迎え。さらに先史時代の生活を想像させる模型がずらりと並んでいます。縄文時代の土器などを見ると、何もお手本がないところからどう色々な形を思いついたのか不思議に思います。

時代ごとに分かれた展示室は第6まであり、じっくり見ると3日はかかりそうなぐらい。先史時代から現代までの生活や文化を表した様々な模型は、映画「ナイトミュージアム」のように誰もいなくなったら動き出しそうなほどリアルです（河童の模型まで！）。

写真撮影も一部を除いて個人的な利用目的であれば可能なので、魅力的な展示群を撮影しながら見て回るのも楽しそう。行くたびに新たな発見がありそうな歴博、歴史が好きな人もそうでない人も訪れる価値あり！です。（HPもご参照）

こうして歴史や文化を俯瞰してみると、時代が移り変わり洗練されていく中でも変わらない人々の営みがあるということに気がきます。ルーツを大事にしながらも変化を恐れず力強く前進していく、そんなあり方がこれからも受け継がれていってほしいなと思います。（写真：京成線車窓から、ここに米あり。歴博ファサード 撮影：三木）

おすすめの本 『REKI HAKU 歴史と文化への好奇心をひらく』から

「歴史なかの疫病・感染症と人類は、どのように向き合い戦い、付き合ってきたか」 205-レ-4

「ファッション×博物館・歴史に見つける新しいファッションのヒント」 205-レ-5

「人工知能の現代史・歴史学の立場から人工知能を学ぶ意義とは？」 205-レ-6

「アートが開く地域文化・新たな文化を誰と共に創るのか？」 205-レ-8

発行：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

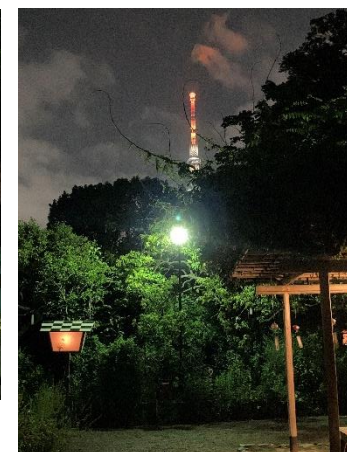


夏は花火だ！
6年ぶりの多摩川河川敷花火
(8月15日)

久々に再開された平和祈念花火を堪能（右）

夕涼みのむしの声
「向島百花園・虫ききの会」
(8月22日)

まだまだ暑さは残るけれど、都内で虫の声を楽しむ夕涼み。すずむし、くつわむし、まつむしきりぎりす、ちょっと懐かしい虫たちの声（下・墨田区東向島）



9月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

※開館スケジュールは変更される場合があります

	8:35 ~ 21:30
	8:35 ~ 16:45
	13:35 ~ 21:30
	閉館

★★ LibFinder を活用しましょう！ ★★

右の QR コードを読み込んでアクセスパスワードを入力すれば、新着図書をチェックしたり開館スケジュールを確認したりできます。

パスワード: